

2019年度PGリーグ大会要綱

1, 参加資格

2019年度稲城市サッカー連盟加盟の4種チーム(3年生以下)

2, 競技規則

以下に特に記載の無い場合は、日本サッカー協会2019/20『**サッカー競技規則改正**』(新ルール)にて行う。
(JFA発行の「8人制サッカールール」を適用) 退場者については次の試合1試合のみを出場停止とする。
警告累積2枚になった場合も次の試合1試合のみを出場停止とする。本大会中は累積する。
全ての選手は登録制とする。追加登録は随時可能(出場試合の当日第1試合招集まで)チームを跨いでの登録は不可。

3, 会場

稲城市総合グラウンド、南多摩グラウンド、南多摩覆蓋グラウンド、他稲城市内のグラウンド

4, 試合時間

30分(15分-5分-15分) インターバル(前半終了から後半開始のホイッスルの間)は5分間とする。

5, 試合

別途定める組み合わせ表に基づき、リーグ戦により優勝以下を決定する。

- ①8人制で行う。試合開始時と試合中に最低6名が出場していること。試合中の負傷手当などで1次的な6名未満は認める
- ②試合中に5名以下となった場合その試合は続行してもよいが、試合開始及び終了時に5名以下のチームは不戦敗とする。
- ③試合が不成立となったときはその試合を「3:0」とし、不戦敗チームの勝ち点は「マイナス1」とみなす。
- ④リーグ戦の順位については、以下にて決定する。
 - ①勝ち点(勝ち3、引分け1、負け0)
 - ②得失点差
 - ③総得点
 - ④直接対決の結果
 - ⑤本部によるトス
- ⑤大会参加チーム数に基づき、①Gpリーグ+順位リーグ、②総当たり1回戦 のどちらかで運営する。

6, グラウンドのサイズ

(縦:60m×横:40m)を基本とするがグラウンドにより多少の変更可能。(50m~60m×32m~40mの範囲内)

7, ボール

ボールは4号検定球とし、「0.8㎏」に調整したものを当該チームが持ち寄って主審が決める。

8, 会場設営

会場設営は基本的に第1試合開始時間の90分前から全チームのスタッフ・審判で行い、後片付けも全チームで行う。
会場設営は当日の審判員を中心に公式戦と同基準で行う。前回のラインをなぞる行為だけで済ますのは不可とする。
会場設営終了後、当日の審判員は育成会指導者と共にグラウンドチェックを行う。
当日の試合数が多い場合はamのチームが設営、pmのチームが後片付け。と振り分ける場合もある。

9, 会場運営

- (1)会場運営は当番制とし、組み合わせ表に記載の2チームが担当し、相談の上役割分担する。
- (2)運営当番の役割:下記に指定のない場合はそれぞれ2チームで分担してもよい。
 - ①A3の対戦表と当日全試合分のA3の結果報告シート (対戦表の第1試合運営欄左側のチームが用意)
 - ②空気圧系と空気入れを持参し、用具チェックの際の審判の補助を行う。
 - ③審判用飲料水(芝の上では【水】のみ)の手配。
 - ④覆蓋Gではメジャーを各2本持参 (午前・午後と別れた場合は午前の2チームが2本ずつ計4本用意する)
 - ⑤当日の試合結果の報告 (対戦表最終試合の運営欄右側のチームが報告する)
 - ⑥会場準備と後片付けの支持と、終了後の最終確認(結果報告・忘れ物・駐車場からの撤収・場合によっては施錠)
 - ⑦試合結果は、「報告シート」にて事務局に提出、又はML配信メールに「全員に返信」で添付報告する。
- (3)南多摩グラウンド及び覆蓋グラウンドにおいては
 - ①第一試合開始1時間半少し前に川崎街道入り口(ゲート)を開錠する。(少年部)
 - ②各チーム車両(応援観戦者含む)は当日指定の台数を守り、指定の駐車証を車両前面に掲示する。
 - ③駐車場係りを各チームに振分ける。来場者は全体配信の『南多摩G案内』を必ず読んで注意事項を理解の上入場する。
 - ④基本はAゾーンに駐車、その後E⇒Fゾーンへ。スロープ上や階段下など役割によって指定する場合あり。
 - ⑤南多摩グラウンドにおいて当日全ての試合が終了したら、選手・コーチで【グラウンドに砂入れ】を行う。

- ⑥石灰の空袋は最後の当番チームが持って帰り処分する。
- ⑦南多摩グラウンドの倉庫内の石灰の残数が3袋以下の場合は少年部長に連絡する。

(4)総合グラウンドにおいては

- ①『8:30グラウンドつくりのスタッフのみ入場、8:45選手その他父兄や応援者の入場可能』の基本ルールは厳守する。
- ②近隣住民に考慮して早く来すぎて入り口前で騒がず、東側芝生広場で8:45まで待つ。ボール利用アップ可能。
- ③トラックに入れるのはボールを取に行くスパイクを履いていない指導者のみ。他立入禁止指定部分多々あり。
- ④ピッチに進むためにトラック上に配置されたグリーンマットの上を渡る場合はスパイクも可とする。
- ⑤有料駐車場の混雑緩和のため総合G前の北駐車場へは各チーム1台のみ駐車とし、残りは総合体育館駐車場に駐車する。
- ⑥17:00完全撤収を徹底する。

- *芝の上ではかかと部分が固い靴、細い靴では入場禁止(革靴・ハイヒール等々)車輪の小さいベビーカーも芝の上では禁止。
- *選手・コーチ・父兄・その他観戦者が会場ルールを守らなかった場合、チームに対し何らかの罰則を与えることがあります。
- *本部から見て左側を『Aコート』、右側を『Bコート』とする。

10, 出場チームの構成

- ①原則3年生で構成する。チームに3年生が8人以上必要だが、チーム事情により2年生を補充しても良い。
- ②複数チーム出場の場合は、2チームエントリーは16名以上、3チームは24名以上の3年生の登録選手がいる事。
- ③大会運営上の理由で本部より依頼された『追加1チーム』の場合は上記条件を緩和する。
- ④最初から下位学年の主体のチーム編成にしない。追加登録は認めるが1度出場した選手は他チームでは登録できない。

11, ベンチ入り

試合の際のベンチ入り選手の人数制限は設けない。ベンチ入りスタッフは2名以上3名以内とする。(内1名は父兄でも可)

11, 交代

「自由な交代」とする。 当日の参加選手は、控え選手を含めて必ず全員出場する事を原則とする。

13, 審判

- ①1人審判制(主審・補助審)だが、多くの審判員に経験を積ませる為に、前後半で主審を交代する。
- ②目安として審判を振り分けるが、育成指導者と相談の上その試合の審判を決めることを基本とする。当該チームでも可。
- ③審判育成のための大会でもあるので、経験の少ない審判員が積極的に審判を受け持つことを優先とする。
- ④経験の少ない審判優先で割当ててる為、ジャッジに対してクレームは付けず(確認はOK)、本部と育成指導者に対処を一任する。
- ⑤今大会を【審判育成会】協力による『新ルールお試し大会』とし、出来るだけ多くの指導者の参加を促す。
- ⑦試合終了後は報告シートに結果を記載し署名する。その後は育成会指導者と試合後の確認を行う。

14, ユニフォーム

- ①FP、GKともに、それぞれH&Aが互いに容易に識別できるもの(色)であること。
- ②TOMAS交流会のユニフォーム規定を基準とするが、複数エントリーなどで対応が難しい場合は、本部判断により可不可を判断する。(今回は認めるが次節からは認めない・・・等々ある程度の柔軟性を持たせる)

15, 表彰

《チーム》優勝、準優勝、第3位、敢闘賞と、2部リーグ1位、3部リーグ1位を表彰する。

《個人賞》得点王、アシスト王、ベストGK・・・各1名、ポイント制で同点の場合は決定戦(方式は本部で決める)を行う。

MVP(各チーム1名)ポイント同数の場合はチーム推薦で1名にする。各チームは試合後「報告シート」に必要事項を記載する。

16, 参加費

1チームにつき 4000円 少年部新年会の際に徴収

17, その他

- ①疑義が生じた場合は本部に提起し、本部と当該及び当日の出場チーム間で確認を行う。
- ②リハウスリーグやハトマークなど来年度の公式戦に備え、審判・指導者・選手それぞれが新ルールを理解するための大会とするため、各チームの指導者・審判員は積極的に参加すること。